

(こども版) としょかんだより No. 235

わくわく本だな

2003年
9月号

富山市立図書館 富山市丸の内1-4-50 電話 076-432-7272

にのみやゆきこ
二宮由紀子さんの本

「ゆきだるまのマール」

「マールのかくれんぼ」

雪だるまは、大人になればなるほど、
からだごとけてきて小さくなります。
すえっこのマールもはやく小さく
なりたくてたまりません。

「へびのしっぽ」

へびのしっぽは、頭にひきずられてたいくつでした。
「ぼくもだれかと話がしたい。」と思ったしっぽは、
おもいきってタンポポに声をかけましたが、
うまくいきません。

二宮さんの物語は、へびの
しっぽや、大きな鼻など いかいな
ものが主人公になっています。
楽しくてついついわらってしまう
「ハリネズミのプルプル」シリーズは、
赤い鳥文学賞を受賞しました。



「ハリネズミのプルプル」

- 1、森のサクランボつみ大会
- 2、イチジクの木の下で
- 3、キンモクセイをさがしに

ハリネズミってものすごいわすれんぼう
だってこと知ってた？
プルプルは、サクランボつみ大会のこと、
友だちのこと、みんなわすれてしまいます。



「うっかりウサギの
う~んと長かった1日」



朝、目がさめたウサギは
びっくり！
なんと、かたほうの耳が
なくなっていたのです。

「たまねぎあたまのたまねぎこぞう」(絵本)

「けしごむくん」(絵本)



「ムシャノコウジガワさんの鼻と友情」

あたらしくはいった本

= 1・2年
= 3・4年
= 5・6年

えほん

「いたずら王子パートラム」 アーノルド・ローベル/作 偕成社

パートラム王子は、あまりいい子ではありません。ベビーベットのなかで一日中わめいたり、ハイハイをしてお庭のバラを全部むしったり、いたずらばかりします。それを見た魔女は、おこって王子を竜にしまいました。



「なんででんねん天満はん - 天神祭」 今江 祥智/作 童心社

大阪にある「天満の天神さん」というお宮には菅原道真というえらい神様がまつりしてあります。

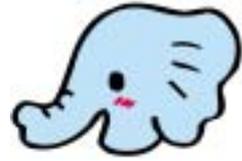
天神さんのおまつりを見た夜、男の子は全国からたくさんの天神さんが大阪にあつまってきたゆめをみました。



ものがたり

「おさらのぞうさん」 森山 京/作 小峰書店

マリコは、赤ちゃんの時からずっと使ってきたぞうさんのおさが大好きで、小学生になった今も大切にしていました。ところが、ある夜、マリコは、ふしぎなゆめをみてから、おさらを使うのをやめました。そのわけは・・・。



「かぜの学校のなかまたち」 今村 葦子/作 ほるぷ出版

かぜの学校は、動物たちがかよう楽しい学校です。

でも、きょうは、こうさがきていないので、みんな心配でなりません。ようすをみにいくと、こうさは、熱がでて、ふらふらになっていました。そこで、みんなはなんとかして元気になってほしいと考えました。



「ちびねこグルのぼうけん」 アン・ビートリ/作 福音館

グルは、薬屋のジェームズさんの家にもらわれてきたちびねこです。

ちょっと短気なところがあって、いつも「ちっくしょう！」とおこってばかりいます。あるとき、カッとなってお客さんをひっかいてしまったグルは、この性格を直そうと友だちのピーターやスミスさんにそうだんしました。



「フランシスカとくまのアントン」 ヴィルヘルム・トブシュ/作 徳間書店

フランシスカは、森で出会ったくまのアントンと、なかよく農場でくらしています。アントンは、料理がとくいで一日中家の仕事をして、フランシスカは、畑仕事をします。ところが、ある日、村に山賊がやってきて「くまの毛皮を持ってこない」と村の家に火をつけてやる！」というのです。

「シノダ!チビ竜と魔法の実」

富安 陽子/作 偕成社

パパ、ママ、そして三人の子どもたち。一見、ごくふつうの信田一家にはひみつがありました。それは、ママが本当はキツネだということです。

ある時、キツネの鬼丸おじいちゃんが、家に竜の子どもをつれてきました。この竜が、おふるばにすみついてしまったから、さあ大変!



ちしきの本



「見えない光を見る」 -びっくり、ふしぎ 写真で科学 2-

滝沢 美絵/文 大月書店

ドアをさわった時、ビリッと感ずることがある静電気や、ハガキに印刷されている蛍光インクのバーコード、蛍光灯のしま模様など、いろいろな目に見えない光を、特殊カメラで撮影して紹介します。

みんなのひろば

おともだちがしょうかいする本コーナー

ねこが見た話

たかどの ほうこ/作



へんなわにや、へんな人間ができて、おもしろいよ

奥田北小学校 3年 池田 理子

ふたごの魔法つかい 銀のつばさ

川北 亮司/作

ピンカの背中に銀のつばさがはえてきたところがおもしろかったよ。

あやかのくつを木の上にわすれてきたところもたのしかったよ。

奥田北小学校 3年 北野 真由

わにのスイーツ

中川 ひろたか/作

テーブルの上のケーキに、かぞえきれないほどのろうそくがたっています。

たのしいおはなしです。

萩浦小学校 2年 森田 理さ子



ママだいたい大すき

太田 京子/作

いつもおこってばっかりいるママは、あたしのこときらいかも?

ママがおこったときにしわが5本もできるところがおもしろいです。

堀川小学校 2年 広田 来実

呉羽小学校 2年
桶川 日環



「ペンギンペンギン」
フジが、おつさま
ペンギンの赤ちゃんを
だっこするよ。
鶴見 正夫 作

クー

森山 京/作

ハルナは、くまの「クー」の人形が大好き。

とってもだいじにしている「クー」を仲良しのアヤにあげて、ひっこしします。

おもしろいのでぜひ読んでみてください。

新庄小学校 4年 楠 麻衣

あの世レストラン

たかいよしかず/絵



藤ノ木小学校 6年
藤井 亜弥

フレディ 2

世界で一番ねらわれた

ハムスター



話
とても楽しいお

藤ノ木小学校 6年

川端 美貴

しいたい しらべたい



学校の田んぼで作った、^{いね}稲が実りました。
米を^{しゅうかく}収穫したあとのわらで何か作りたいのですが、
どんな本でしらべたらいいですか？

次の本などにでています。

「写真でわかるぼくらのイネづくり 4 **料理とワラ加工**」 農文協

「衣食住に見る日本の歴史6 江戸時代 **農村と都市の暮らし**」 あすなる書房

「そだててあそぼう **イネの絵本**」 農文協

シリーズしょうかい

「キツネのかぎや 4 **だるまさんのおへそ**」

三田村 信行 / 作 あかね書房

かぎやさんは、だるまばくだんのかぎをあけることになりました。



「いぬうえくんのおきゃくさま」

きたやま ようこ / 作 あかね書房

おきゃくさまがくるという手紙にくまざわくんは、ドキドキ。

「こぎつねキッペのそらのたび」

今村 葦子 / 作 ポプラ社

木のえだにはねとばされて、キッペはびゅんびゅん空をとびます。



「^{まほうつか}ルイスと^{きょうかい}魔法使い協会 ^ざオペラ座の^{ゆうれい}幽霊」

ジョン・ベレアーズ / 作 アーティストハウス

オペラ座にあらわれた^{けいこく}幽霊の警告とは・・・。

「**ブンダバー 4**」

くぼしま りお / 作 ポプラ社

ブンダバーは、

病気でねたきりの

ルルとなかよく

なります。

「ローワンと^{まもの}白い魔物」

エミリー・ロツダ / 作 あすなる書房

雪にうずもれたリンの谷に、^ま魔の山から

何者かがやってきました。

9 が つ

おやすみの日

9月 1 日 (月)

4 日 (木)

8 日 (月)

15 日 (月)

22 日 (月)

23 日 (火)

29 日 (月)

30 日 (火)

9月30日(火)から10月8日(水)は^{てんけん}蔵書点検でお休みです。